

# Smile

FREE MAGAZINE

2024 春号

NO.039

2024.4.1 発行



## TOPICS

- 『肝・胆・膵』働きと疾患
- 食事で治療 肝リピドーシスの食事管理のコツ

**[特集1]**

『肝・胆・膵』働きと疾患…3

**[特集2]**

食事で治療

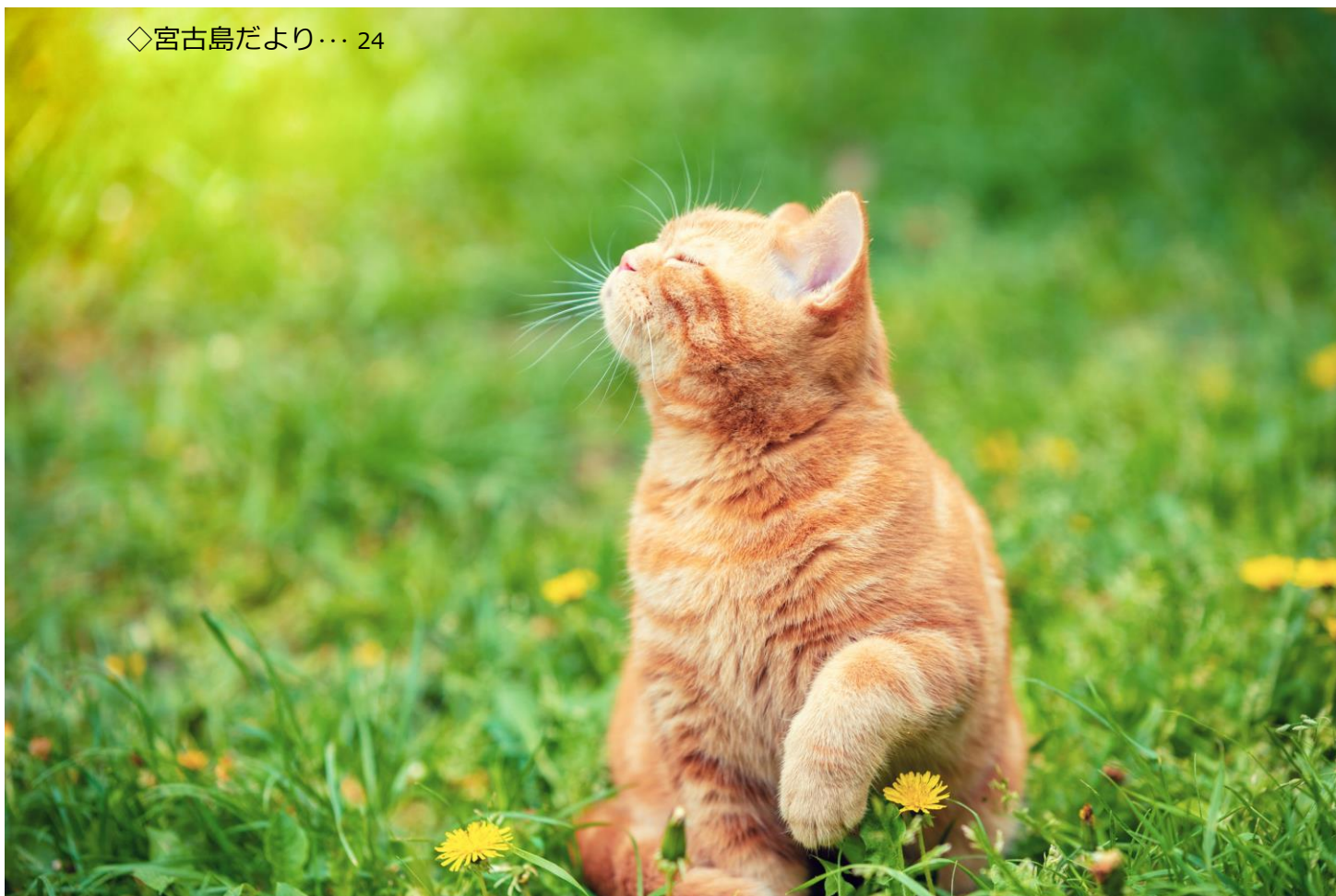
肝リピドーシスの食事管理のコツ… 13

◇絆プロジェクト活動報告… 17

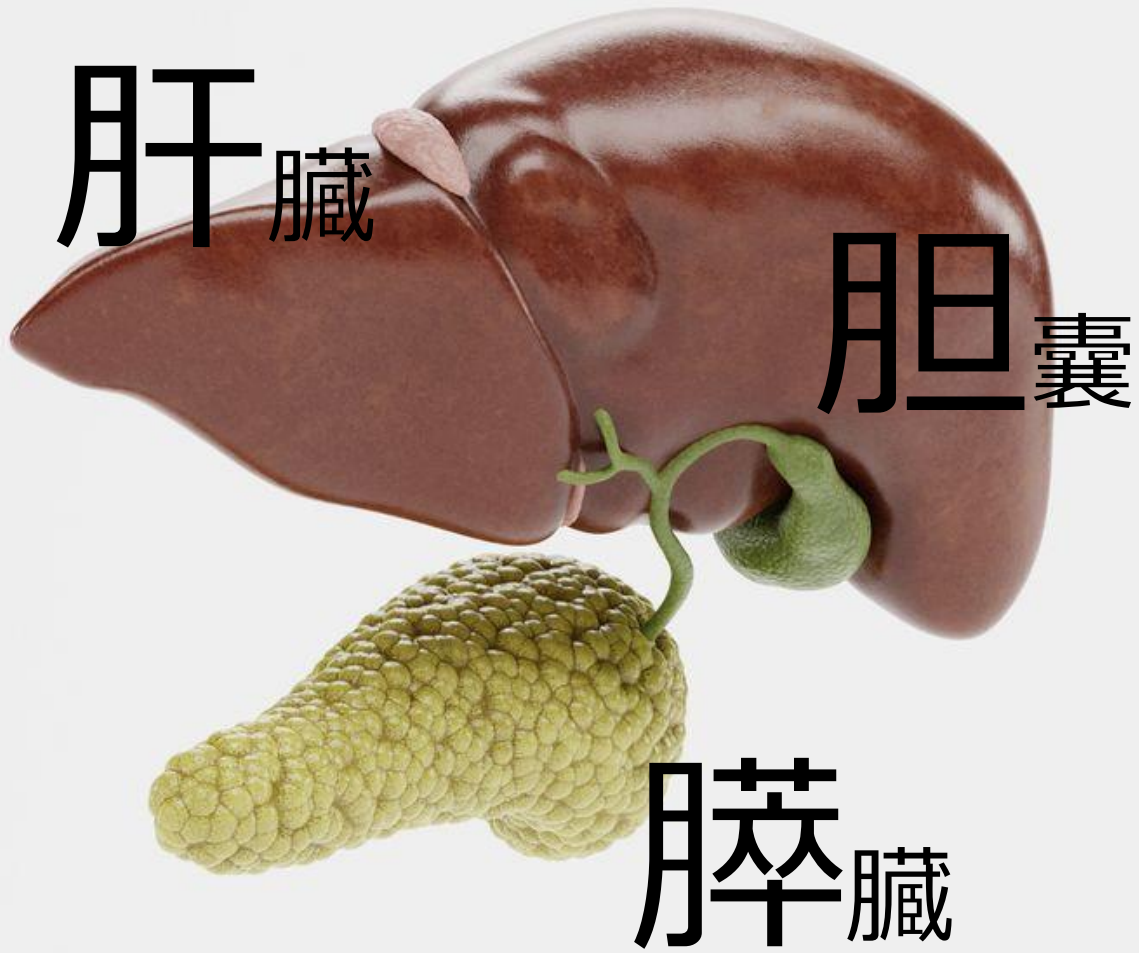
◇Wellness Salon cocoe

・ウェルネスの診察室から…22

◇宮古島だより… 24



【特集1】



働きと疾患



# 肝臓

肝臓は、体の中で最も大きい臓器で、肋骨に囲まれるようにして存在しています。肝臓は管を通じて胆嚢と繋がっており、さらに、胆嚢は十二指腸と繋がっています。

肝臓は再生能力がとて高く、障害を受けても症状が出にくい臓器です。そのため肝臓は、「沈黙の臓器」と呼ばれています。

## 働き

肝臓の主な働きは4つ

### 1 | 代謝・合成・貯蔵

食べ物は摂取しただけでは体の中で利用されません。胃や腸などの消化器で消化し、タンパク質はアミノ酸に、脂肪は脂肪酸やリパーゼに、ブドウ糖はグリコーゲンに、といった形へ肝臓で代謝されます。これら栄養素は体の各器官が必要とするかたちにつくりかえられて肝臓で栄養素を貯蔵し、貯蔵した栄養素を必要な時にまた分解してエネルギーを作り出し利用します。

### 2 | 解毒

肝臓は身体にとって有害な物質(毒物や薬物、代謝の際に生じた副産物など)を毒性の低い物質に変え、尿や胆汁中に排泄し解毒します。

### 3 | 胆汁の生成・分泌

消化を助ける胆汁を生成し、腸内に分泌します。胆嚢は肝臓で生成された胆汁を一時的に溜める働きをしています。

### 4 | 造血と血液の処理

肝臓では循環血液量の調節を行ったり、古くなった赤血球を破壊して再利用したりしています。また、出血を止めるための凝固因子の産生もしています。

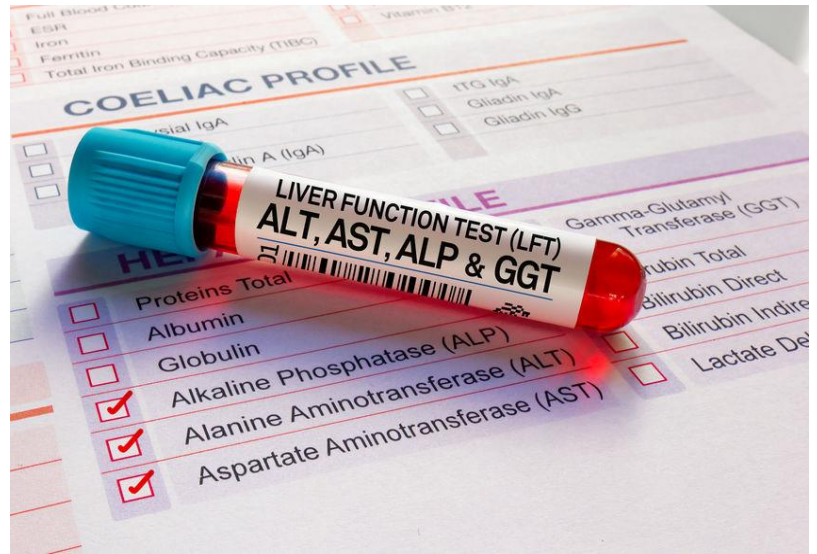
# 検査

## 【肝臓・胆嚢の検査】

簡単な検査としては血液検査やエコー検査、詳しい検査としてはCTや肝生検が有用です。

血液検査項目のALT、AST、ALP、GGTは肝臓の酵素です。これらが高値の場合、持続的に炎症が起こっていることを意味します。

**特に猫の場合、肝酵素は半減期(血中に分泌後に半分にまで減る時間の事)が短いことがわかっています。そのため犬ほど肝酵素が上がることはありません。猫の肝酵素上昇がみられたら詳しい検査にすすみましょう。**



肝酵素の半減期

	猫	犬
ALT	3.5時間	40~60時間
AST	1.5時間	12時間
ALP	6時間	72時間

※半減期とは、物質や濃度などが、代謝等の化学的な反応によって血液中の物質が半分に減るまでの時間を指します。

## 肝酵素が高い時の主な病気

- 肝・胆道疾患
  - がん(原発性、転移性)
  - 胆管炎 胆管肝炎
  - 感染症
  - 胆管閉塞
  - 門脈体循環シャント
  - 門脈低形成
  - 肝リポドーシス
  - 肝アミロイドーシス
  - 銅蓄積病
  - 肝膿瘍
  - 肝硬変

## それ以外の理由

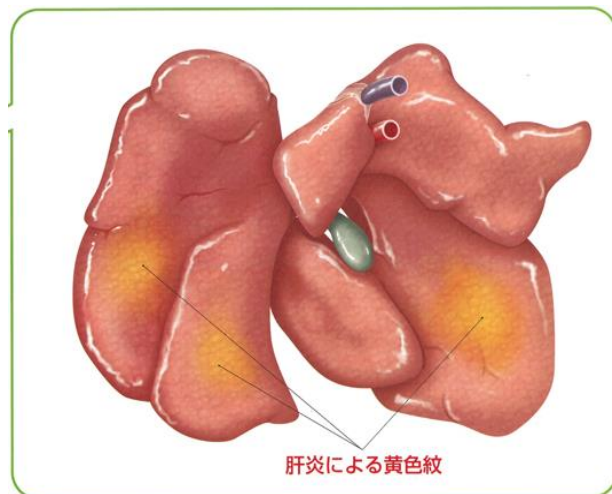
- 膵炎
- 中毒(毒物・薬物)
- 猫の甲状腺機能亢進症
- 猫伝染性腹膜炎
- 犬の副腎皮質機能亢進症

# 疾患

## 肝炎・胆管炎

**急性肝炎**とは、様々な原因によって肝臓の細胞に急性の炎症が起こる状態です。

原因が取り除かれない場合は、肝臓の線維化が広がっていき、**慢性肝炎**に進行してしまうこともあります。また、肝臓は胆管と連続しているため、炎症が波及して**胆管炎**を併発し、**胆管肝炎**となることが多いです。



### 【症状】

肝炎の症状は、様々な病気に共通するものが多く、重度にならないと現れないことが多いです。

食欲不振、下痢、嘔吐、**黄疸**（白目や耳、口の粘膜が黄色っぽくなります）貧血、発熱、多尿、肝臓の圧痛など。

病態が進行すると、これらの症状に加えて、痙攣や歩様異常や昏睡などの**神経症状**が現れ、治療が難しくなる可能性が高くなってしまいます。



### 【治療】

急性肝炎の場合、抗菌薬など原因に対する治療をしながら、肝臓の機能を回復させる治療を行います。

猫では**肝リピドーシス**にならないための栄養管理も重要です。

肝炎はある程度病態が進行しないと症状に現れないことが多いため、発見や治療が遅れてしまいがちです。

慢性肝炎まで進行してしまうと治療が長引いてしまったり、治りも悪くなってしまいます。

元気・食欲がなくなってきた、痩せ始めたなど気になる症状があれば早めに病院行きましょう！

また、血液検査や画像検査での定期検診が早期発見・治療につながります！

# 肝リピドーシス

様々な原因によって体内のエネルギーが不足した状態に陥り、補おうとするも代謝が追いつかなくなってしまい、肝臓に送られた体脂肪がどんどん蓄積されていってしまう病気です。

## 【原因】

ホルモンの異常、栄養過多、薬物、胆管肝炎や膵炎など病気による食欲不振や食欲低下。

△太り気味の猫さんが急に食べなくなり、1週間以上もご飯をしっかりと食べられない時は要注意！

## 【症状】

初期では明らかな症状は現れないことが多く、食欲の低下、嘔吐などがみられます。進行するにつれて肝腫大による腹部の腫れや黄疸がみられるようになり、流涎、意識障害、痙攣などの神経症状が現れることがあります。

## 【検査・診断】

- レントゲン検査、超音波検査、血液検査：肝臓のサイズや性状、肝機能や炎症具合などを確認します。
- 針生検：肝臓の細胞を針で採取して性状を見る検査で、診断に有用な検査です。  
肝リピドーシスの猫では脂肪を多く含んだ細胞がみられます。
- 病理検査：確定診断には最も有用な検査ですが、状態によっては行えないことがあります。

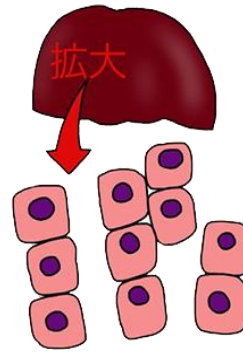
## 【治療】

吐き気が強く出てきてしまうため、制吐剤で吐き気を抑えながらの栄養管理が重要です。また、免疫低下による感染予防や肝臓の保護も必要な治療です。

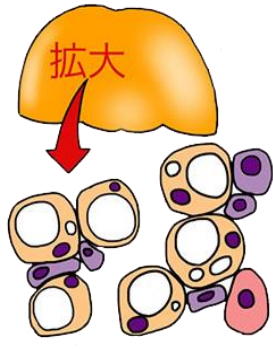
## 【食事管理】

肝臓に溜まってしまった脂肪を燃焼するにはタンパクが必要です。そのため、基本的には高タンパク食で食事管理を行います。自分で食べられない場合には、鼻カテーテルや胃ろうチューブを使用して強制的に給餌をすることも多くあります。また、長時間ご飯を食べていない状態の体に急に栄養を入れると、吐いてしまったり、電解質が乱れてしまうため、ゆっくり少なめの量から与えていきます。

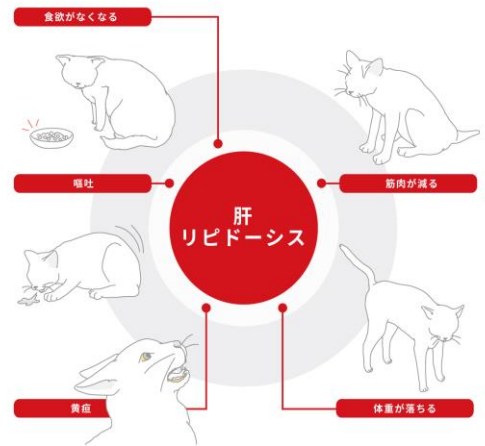
正常な肝細胞。



脂肪が賃借して膨らんだ細胞とそれによって圧迫をうけて小さくなった肝細胞。



肝リピドーシスの主な症状



など

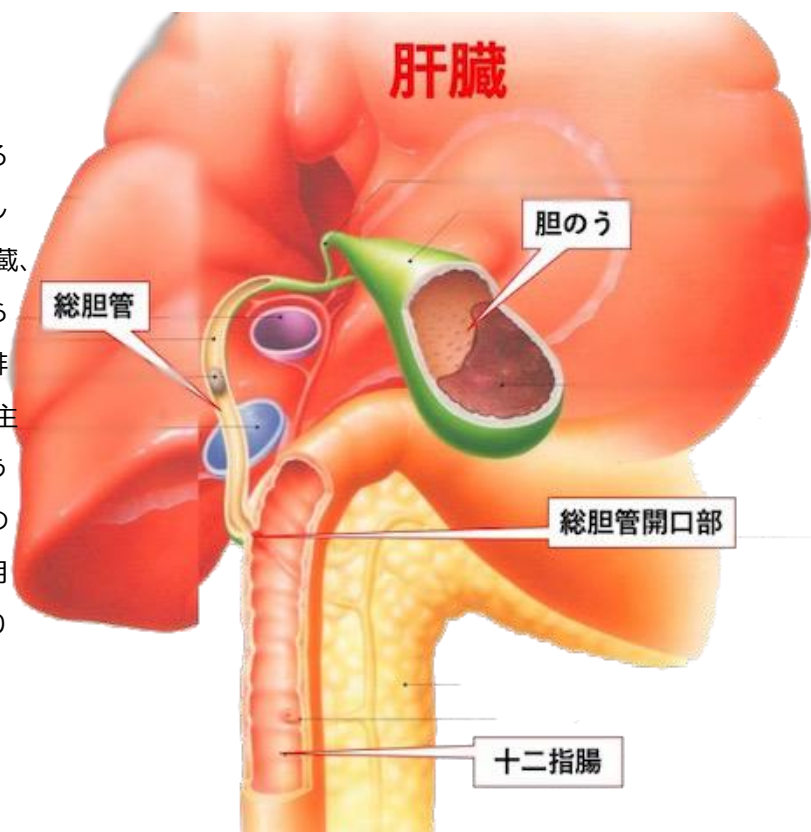


# 胆嚢

胆嚢は、肝臓に包まれるように存在している胆汁を一時的に貯めて濃縮する袋状の臓器で、西洋梨状の形をしています。消化液である胆汁を濃縮し、貯蔵しています。胆汁は食べ物とまじりあって、食物の消化を助ける働きがあります。

## 働き

胆嚢は、肝臓に包まれるように存在している臓器で、消化液である胆汁を濃縮し、貯蔵しています。肝臓の細胞で作られ、胆嚢に貯蔵、濃縮された胆汁は、食べ物が十二指腸に送られてきたタイミングで、胆嚢の収縮により排出され、十二指腸に分泌されます。胆汁の主要成分である胆汁酸は、脂肪の消化吸収を行う際に、重要な役割を果たしています。脂肪の消化・吸収だけでなく、肝臓の持つ解毒作用にも働き老廃物を体外へ排出する機能もあります。





# 疾患

## 胆嚢粘液嚢腫

胆嚢粘液嚢腫とは、何らかの原因で胆嚢の中にゼリー状の粘液物質が貯留した状態をいいます。胆汁の分泌を障害するために様々な消化器症状を引き起こし、状態が進むと、黄疸や胆嚢破裂に伴う腹膜炎などの重篤な合併症を引き起こします。



### 【原因】

原因については、はっきりとはわかっていませんが、胆嚢壁からの粘液の過剰分泌や胆嚢の運動の機能低下、細菌感染、高脂血症、ホルモン疾患などが関連しているといわれています。

### 【症状】

嘔吐、食欲の低下、元気消失、飲水量の増加、尿量の増加、腹痛、黄疸など。まれに症状がみられない場合もあります。

### 【検査・診断】

超音波検査にて、キウイフルーツ状とも言われる胆嚢粘液嚢腫を疑う特徴的な所見が見られます。



### 【治療】

根治的な治療としては外科的治療が挙げられ、胆嚢の切除や総胆管の洗浄などを行います。一度で治る可能性が高いですが、周術期のリスクも伴います。

内科学的治療としては、基礎疾患の治療に加え、胆汁排泄を促す薬や抗菌薬を使用します。また、低脂肪食による食事療法も行います。外科的治療に比べ、慢性的な経過をたどることが多いです。



# 膵臓

膵臓は右上腹部、胃から十二指腸に沿うように存在し、消化や血糖値の調節に関与している重要な臓器です。

## 働き

### ① 消化の手助け

(外分泌)

タンパク質・炭水化物・脂質を分解する消化酵素であるトリプシンやアミラーゼやリパーゼを分泌します。膵管を通じて小腸に分泌することで、消化・吸収の手助けをしています。

### ② 血糖値の調整

(内分泌)

インスリンやグルカゴンなど、血糖値に関与するホルモンを分泌することで、血糖値をコントロールしています。これらの調節がくるとなると糖尿病や低血糖になってしまいます。

## 検査

### 血液検査

#### 膵特異的リパーゼ

(Spec cPL/fPL、Vリパーゼ)

血中に存在する膵臓の酵素のみを測定する検査で、高値の場合には膵炎と診断されます。しかし、数値が上がらざらうこともあるため、低値でも膵炎の可能性がります。

### 画像検査

超音波検査にて、膵臓のサイズや形、炎症具合などをみます。

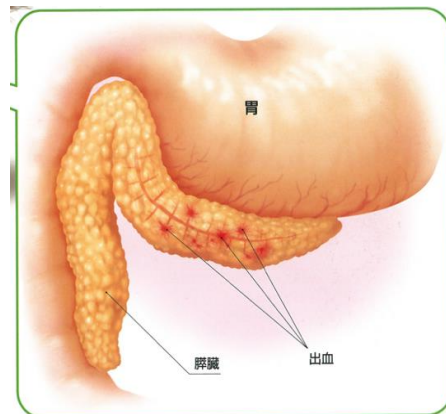
# 疾患

## 膵炎

犬猫の消化器症状として代表的な病気に膵炎がありますが、膵炎には急性の膵炎と慢性の膵炎があります。

**急性膵炎**は膵臓の消化酵素が何らかの原因で活性化されたことで膵臓自体が自己消化されてしまうことで激しい痛みや嘔吐下痢を引き起こします。犬ではこの症状が顕著ですが猫では症状に乏しいようです。

**慢性膵炎**は進行性の膵繊維化に伴う膵機能障害で、消化吸収に影響を及ぼします。



猫では慢性膵炎が多くみられ、ある研究では死後の剖検で、猫の60～70%は慢性膵炎だったとの報告もあります。**肝リピドーシスや胆管炎、十二指腸炎、糖尿病**などと関連していることが知られています。また、原因についてはまだほとんどわかっていません。

### 【症状】

#### 犬の急性膵炎

突然の激しい腹痛、痛みによる震え、食欲低下、激しい嘔吐、下痢をおこします。

#### 犬の慢性膵炎

膵臓の腺細胞が委縮するため膵機能が落ち、膵外分泌不全による下痢や嘔吐・体重減少、糖尿病などを合併することもあります。

#### 猫の急性膵炎

犬よりは明確ではないけれど消化器症状を起こします。症状に乏しく、なんとなく食欲が落ちたり吐いたりします。

#### 猫の慢性膵炎

そういえばよく吐くようになった、といった感じの間欠的な嘔吐や体重減少を起こします。肝リピドーシスや糖尿病などを併発すると、危険な状態に陥ってしまうことがあります。

### 【治療】

輸液により水分やミネラルの補充を実施しながら、痛みや嘔吐、栄養の管理をしていきます。さらに、抗生剤やステロイド剤を使用することもあります。

# 麻布十番犬猫クリニック info



## ご挨拶

麻布十番犬猫クリニック院長の島田です。当院は港区麻布十番で開業してから今年で15年目を迎えます。

当院では、ご家族様とのコミュニケーションを大切に、ペットのご相談をしやすい環境を整えております。予防接種や一般外来はもちろん、往診や専門的な診療まで対応いたします。また、もしもの時は日本動物医療センターと連携を取りながら愛犬・愛猫の命を守ります。

日本動物医療センターの患者様であれば、電子カルテの共有によって当院をスムーズにご利用できますので、ぜひ一度ご来院ください。お待ちしております。



- 通常診療（予約制）：10:00～14:00, 16:00～19:00
- 定休日：毎週水曜日午後、年末年始
- 住所：東京都港区麻布十番2-8-5-401
- 電話：03-3457-8612
- アクセス

### 《電車》

東京メトロ南北線「麻布十番」駅 4番出口より徒歩4分

東京メトロ大江戸線「麻布十番」駅 7番出口より徒歩2分

### 《お車》

専用駐車場はございませんので、  
近隣のパーキングをご利用ください

日本動物医療センター  
JAMC 麻布十番犬猫クリニック  
Japan Animal Medical Center AZABU-JUBAN DOG&CAT CLINIC

〒106-0045 東京都港区麻布十番2-8-5-401

<https://azabu.jamc.co.jp/> TEL: 03-3457-8612



【特集2】

---

## 食事で治療

肝リピドーシスの食事管理のコツ



## 肝リピドーシスは、

肥満傾向にある子が何らかの原因によってごはんを全く食べられなくなることで起こりうる、放っておくと命に関わるような危険な病気です。



昨日はとても元気でごはんもちゃんと食べていたのに今日から全く食べられなくなってしまった…なんてことが突然起こってしまうかもしれません。そういった際に肝リピドーシスを併発してしまわないために、日ごろから食生活を注意、改善していく必要があります。そのために知っておくべき体型の評価やライフステージについてなどをご紹介します。

## どんな体型が理想なの？

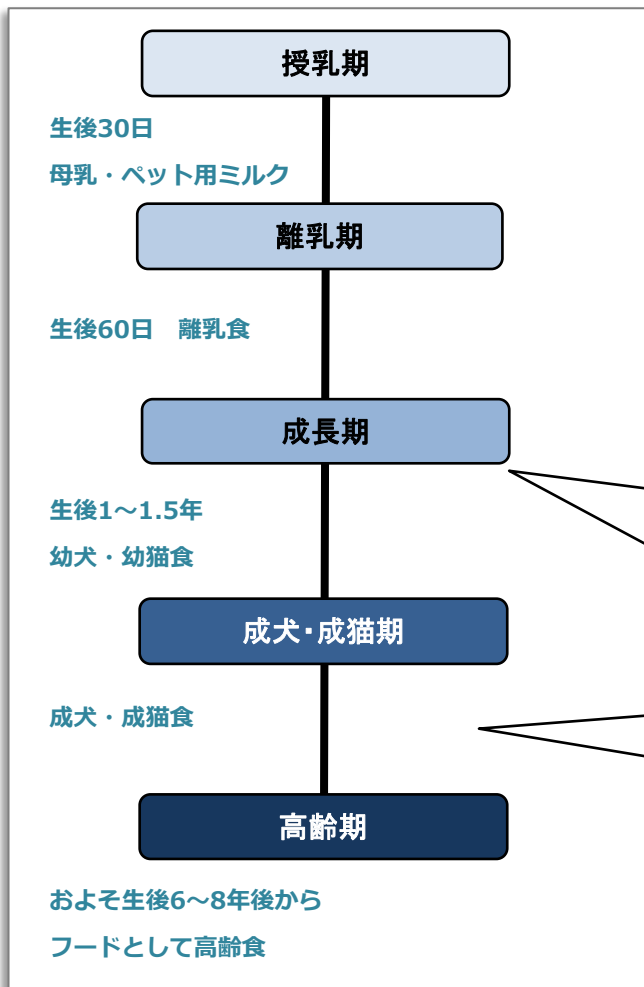
やせている			適正		太りすぎ	太っている		
BCS 1	BCS 2	BCS 3	BCS 4	BCS 5	BCS 6	BCS 7	BCS 8	BCS 9
<b>見る</b> ・短毛種では肋骨などの骨がはっきりと見える ・腰のくびれが著しい ・腹の巻き上がりが目立つ			<b>見る</b> ・腰のくびれが明らか ・腹の巻き上がりがややある		<b>見る</b> ・腰のくびれがあまりはっきりしていない ・腹の巻き上がりがごくわずかにある	<b>見る</b> ・腰のくびれはわずかにある ・腹の巻き上がりはない		
<b>さわる</b> ・筋肉や脂肪がほとんどない			<b>さわる</b> ・肋骨は見えないが、容易にさわれる		<b>さわる</b> ・肋骨は見えないが、容易にさわれる	<b>さわる</b> ・肋骨は脂肪に覆われ、さわるのが困難		
<b>見る</b> ・短毛種では肋骨が容易に見える ・腰のくびれが著しい ・腹の巻き上がりが目立つ			<b>見る</b> ・腰のくびれが明らか ・腹の巻き上がりがややある		<b>見る</b> ・腰のくびれがあまりはっきりしていない ・腹の巻き上がりがごくわずかにある	<b>見る</b> ・腰のくびれがない ・腹部に過剰な脂肪があり、明らかに丸みを帯びている		
<b>さわる</b> ・肋骨は脂肪に覆われ、さわるのが困難			<b>さわる</b> ・肋骨は脂肪に覆われ、さわるのが困難		<b>さわる</b> ・肋骨は脂肪に覆われ、さわるのが困難	<b>さわる</b> ・肋骨は厚い脂肪に覆われ、さわれない		

※BCS4～5が適正な体型といわれています

当院では9段階の「ボディ・コンディション・スコア（BCS）」を参考にして、犬や猫の体型チェックをおこなっています。ご自宅の子を実際に見たり触ったりして、この子はどれにあてはまるのか確認してみてください。

BCS6～9に当てはまる子は肥満傾向にあたるため、食生活の改善が必要です。

# どんなごはんを選べばいいの？



1日に必要なkcalや適切なフードは、その子のライフステージによって変化していきます。

ご自宅の子のライフステージを知ることによって、これまであげてきた食事の量は適正なのか、どんなごはんをあげればいいのかを考える1つの目安となります。

成犬・成猫期はエネルギーの〔消費<摂取〕となりやすく、肥満が起こりやすい時期となります。また、去勢・避妊手術をしたことによって性ホルモン分泌の変化やエネルギー消費量が減少することで肥満になりやすくなるため、適度な食事量制限と運動が必要となります。

高齢期になると、基礎代謝量が低下して太りやすくなったり、消化機能が低下してしまいます。内臓の働きも低下してしまうので、塩分やミネラルの摂りすぎにも注意が必要です。

当院のHPで1日のフード量計算ができますので、ぜひ参考にしてみてください。

HP内で見つからない方は [【日本動物医療センター ペットの1日フード量計算】](#) でお調べください。

\*こちらのカロリー計算はあくまでも参考です。こちらの計算結果と食事給餌量につきましては責任はいっさい取れません。

急激な食事量の変更は健康に影響を与えますので、必ずかかりつけの先生とご相談の上ご利用ください。

- ペットの1日フード量を計算してみる
- 献血のお願い
- YouTube 公式チャンネル
- LINE公式アカウント お役立ち情報を発信中!
- ROYAL CANIN 公式オンラインストア ペットホームデリバリー
- 原宿犬猫クリニック
- 麻布十番犬猫クリニック
- 麻布十番犬猫クリニック 宮古島分院
- どうぶつ内視鏡外科 ネットワーク  
みずの小さな獣医 膝下での肝臓外科手術のご提案

# ごはんを食べられなくなったら

きちんと食事管理をしていても、何日も絶食状態が続くと肝リピドーシスを併発してしまうことがあります。

ごはんを食べられなくなると、栄養失調や低血糖にもつながってしまいますので、もしごはんを食べられなくなったら、すぐに病院へ受診してください。

病院では給餌が必要な子には、お口や栄養カテーテルからごはんをあげています。

ごはんを食べられない子がお口からごはんを食べるために、病院でなにを使ってなにを食べているのかを一部ご紹介させていただきます。

## リキッド

### 【液状のごはん】

ごはんを自分で食べられない子や、消化がしにくい子のために栄養価の高い液体のごはんを使用することがあります。

液体なのでシリンジで押しやすく、お口から直接飲ませたり、細い栄養チューブを体に入れている子でも給餌しやすいのが利点のひとつです。

## CN缶

栄養価の高い療法食で固形ですが通常の缶詰よりも柔らかく、シリンジや経口給餌用シリンジでも押し出せることも利点です。



## シリンジ (2.5~5ml)

お口が小さい子にはこちらのシリンジを使って給餌をすることが多いです。固形の場合は押し出しにくいので主にリキッドを給餌するときに使います。

## 経口給餌用シリンジ

先端が普通のシリンジとは違って長く、お口にシリンジの先を入れて給餌がしやすい形になっています。径も太いので多少粒があるようなウェットフードでも押し出すことができます。

そのほか、ドライフードをお湯でふやかしてドロドロにして経口給餌用シリンジで給餌する場合があります。

お口からはどうしても食べられない子には、鼻や頸部などに設置した栄養カテーテルを用いて、給餌する方法もあります。

参考文献

黒瀬陽平“第5章 動物栄養学 2.栄養要求量” 愛玩動物看護師必携テキスト 編集責任：藤村響男 Gakken p146

大島誠之助“第2章 動物栄養学 3.犬と猫のライフステージと栄養” 愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書8巻 監修：石岡克己 EDUWARD Press

p49





# 美しく健康で 長生きするために

## 絆プロジェクトとは

「動物が健康で美しく長生きするためにできること」をテーマに、ご家族様と動物が楽しく快適に過ごせるよう、動物病院の立場から、「動物と暮らすことの幸せ=絆」を改めて感じてもらえるようなイベントを開催しているプロジェクトです。家族として迎え入れたその時から、生涯を全うするまでの、大切な時間をはつらつと笑顔に溢れる時間にして頂きたい、という願いが込められています。

従来の動物病院は病気やケガが生じて初めて足を運ぶ場所でしたが、これからは、動物が健康であり続けるための「パートナー」として機能したいという思いから、多くの方にとって動物病院に足を運ぶのが楽しいと思っていただけるような様々な企画を行っています。

### 『WEB写真展』

#### check !

定期的にテーマを決め、ご家族様からの素敵なお写真を募集しております。お送り頂いた写真はホームページに掲載させて頂いております。また動画も配信しております。

★web写真展参加特典あり★

2021年より、web写真展に5回ご参加いただいたご家族様には、オリジナルグッズをプレゼントいたします。

### 『イベントテーマについて』

#### check !

ご家族様がどのような情報をお知りになりたいか、是非お声をお聞かせください。皆様のご意見を基に絆イベントを運営して参ります。

アンケートはこちら▶



## 『家族の絆＊写真撮影会』

### 家族みんなの今を記念に残してみませんか？

2023年11月4日に、カメラマンの小川絢子さんをお招きして、

「家族の絆＊写真撮影会」を開催しました。

記念日など家族写真を撮る際に、ペットも一緒に撮る機会意外と少ないかと思えます。毎日と一緒に過ごすペットと一緒に、ご家族の絆を写真に残すことを目的としました。参加された皆さまには素敵な思い出を提供できたことを嬉しく思います。これからもご家族の皆様が笑顔で過ごす瞬間を大切に、記念に残す企画を行ってまいります。

#### ご家族様からのお声



● 2匹のニャンコを撮るのも大変なのに綺麗に撮って頂き大満足です。ありがとうございました。

● 猫が人見知りとやんちゃで全くカメラ目線にならなかったけど、いっぱいシャッターチャンスを作ってください三者さんよの可愛い写真が撮れました。もう少しお時間が余裕があると嬉しいです。ありがとうございました。



## 北渋RunRunフェスタ 2023

11月12日に行われた北渋RunRunフェスタ。  
今年から「ハチ公ラン&ウォーク」が正式種目として追加されました。当院の前がゴール地点となり、参加したご家族とわんちゃんたちは公道を元気に駆け抜けました。  
この種目には600Mランと1Kmランの2種類が用意され、公道を元気いっぱいダッシュで走る子や、ご家族と一緒にのびのびとゆったり歩く姿の子も見られました。  
50頭近いたくさんの可愛い子達のパレードに、沿道の声援も大いに盛り上がりました。



秋田犬保存会から、  
秋田犬2頭が駆けつけて、  
一緒にパレードに参加しました

## BuddyFOOD 試食会

ゴール地点となった当院では  
BuddyFOOD試食会のイベントを行いました。  
多くの方に立ち寄っていただきました。  
ハチクイズに参加して、正解した方にはBuddyFOODを1袋プレゼントしました。（協賛 BuddyCare株式会社）





昨年はハチ公の生誕100周年を記念して、11月に渋谷の街がハチ公で賑わいました。当院もその一環として、秋田県大館市観光課が主催するHACHI100プロジェクトのパートナーとなり、その活動を応援しました。



上野博士の居住地は渋谷の東急Bunkamuraの辺りにありました  
上野博士のお迎えの帰りに焼き鳥屋に寄り道することもあったそうです

ハチ公が亡くなったとき胃袋の中には4本の焼き鳥の串が発見されたそうです



ハチ公の亡骸は剥製にされ国立博物館に展示されています

2019年に秋田県大館市の観光交流施設「秋田犬の里」のオープンに合わせて里帰りを果たさせたそうです

骨格標本は東京大空襲で焼失してしまいました  
お墓はありませんが、青山墓地の上野博士のお墓の横に石碑が祀られています



ハチ公は1935年3月8日に亡くなりました  
その後、ご遺体は東京大学獣医学部病理学研究室で検査されました

心臓の右心室から肺動脈にかけてフィラリアが重度に寄生しており腹水の貯留、肝臓の線維化も認められたそうです  
ハチ公の生きていた時代、まだ予防薬はありませんでした



たまに間違えられますが柴犬ではありません！

ハチ公の故郷は秋田県大館市です。  
1923年11月10日  
父：大子内山号 母：胡麻号の間に産まれました

ハチ公は生後2か月の時点で、東京に移動し渋谷の上野博士のもとへ迎えられました  
秋田犬は日本犬として初めて天然記念物に指定されました



ハチ公の臓器は東京大学農学資料館で保管されていました  
2010年、死後76年の時を経てMRIと組織検査が実施されました

MRIにおいて心臓と肺に広範囲に腫瘍が認められました  
一部の組織を採り顕微鏡で観察したところ、肺に発生した腫瘍が心臓に転移したと思われました



渋谷駅に通うハチ公は冷たく扱われることもあったそうです

かわいそうな境遇を知った洋画家の齋藤弘吉さんが新聞に寄稿したことでハチ公は有名になりました

ハチ公は一躍人気者になり、生前に銅像が作られることとなりました  
銅像を作成した彫刻家の安藤照さんは初台にアトリエを構えておりハチ公もモデルとして初台に通ったそうです



野犬に咬まれたなど諸説あります  
耳血腫とは耳介の皮膚と軟骨の間に血液がたまり腫れる病気です  
外耳炎などが原因で起こります

適切に治療をしないと痛痒く、耳が変形してしまうので耳がブクッと膨れてくる様子があったら早めに受診してください



ハチ公は上野博士の死後、各地を転々としたが

幼少時から縁のあった植木屋さんの小林さん宅で大切にお世話してもらい朝夕は渋谷駅へ通いました

小林さん宅は奥洪のチーズ屋さんの辺りにあったそうです  
近所に住むフォックステリアのペリーちゃんとの間にはクマ公という子どもがいました



# 歯磨き応援隊



歯みがきが大切なことは、多くの方が認識され、一度は取組んだ事があると思います。しかし、実際にチャレンジするとなかなか難しいですよね。嫌になってしまう経験をする、歯みがきを諦めてしまう方も多くいらっしゃいます。では、口腔ケアを全くしなかった場合、どうなるのでしょうか？

近年人と同様、口腔衛生と全身の健康状態は大きく関連していると言われています。歯石や歯肉炎は気になるけれど口腔ケアが難しい。そんな悩みをよくご家族様からお聞きする機会があります。

そこで皆さまがどのように歯みがきをしているか、どんな所が難しいと思われるか、他の方の意見も共有して、歯みがきができるようになる子を1頭でも多く増やしたいという企画です。

公式LINEにて、歯みがきに関するアンケートを行いました。驚くべきことに、100件以上もの回答をいただきました。さらに、具体的な悩みや感想を書いていただいた方も60件以上いらっしゃいました。このような反響から、歯みがきに関して悩みを抱えている方が多いことが伺えます。皆さまからいただいた回答は、予防歯科チームで一つ一つ丁寧に読ませていただき、どのようにすればすれば解決できるかを考えました。

わんちゃんや猫ちゃんが健康で生き生きと過ごせるように、皆さまには大切な家族のお口の状態について知っていただき、より良い方法で口腔ケアに取り組んでいただきたいと強く願っています。

●載せていただきありがとうございます。嬉しかったです。🌟



●我が家は 仕事で忙しい！を言い訳に 先代犬たちは あまりしてあげられませんでした。が 拝読して 歯磨きの大切な事を 改めて実感いたしました。



●今 シェルティ 2匹いますが 毎日 寝る前に 食べる歯みがき粉を 歯みがき粉用のシートにつけて 毎日習慣つけるようになりました。飼い主も 先生方に ほめられると嬉しいです。よね。

## ご家族様からのお声

●先生によるより詳しい解説が載っていて、とても参考になりました。引き続き歯磨きを続けていきます。歯磨き教室に参加して本当に良かったです。



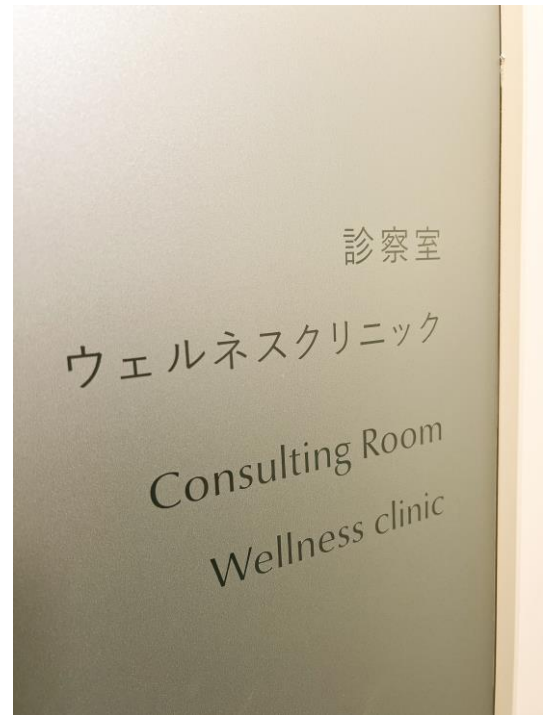
●口臭は気になるから 毎日続けたいです。



連載 第5回 ウェルネスの診察室から

## 活用しよう！ウェルネスプラン

～ 検診と口腔チェックについて～



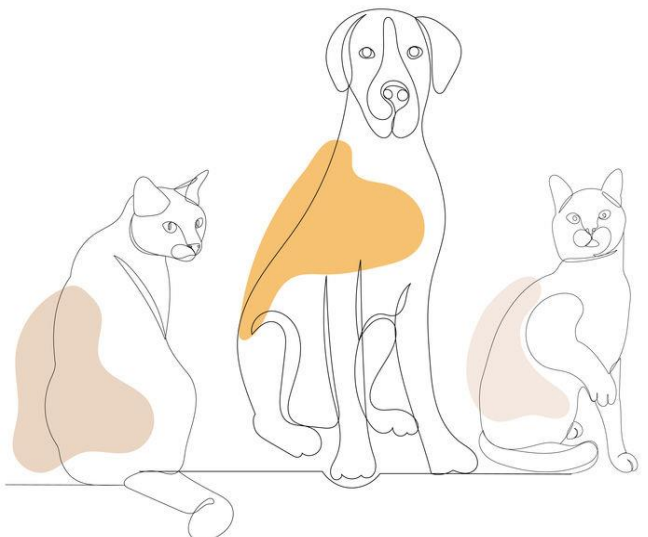
初代ウェルネスプランがリリースされてからもう少しで10年を迎えます。ご家族様からお声をいただきながら、ウェルネスプランチームが少しずつ変更を加え、現在のプラン内容に至っています。当初のプランは、混合ワクチンや狂犬病ワクチン、フィラリア予防、ノミダニ駆除、消化管内寄生虫駆除を含んだ予防医療を漏れなく、そして血液検査など定期検診を割安に実施いただき病気の早期発見に繋げる事を目的としていました。

その後10年で、人医療でもご存知の様に「腸内フローラを意識した腸活」「適切な運動や食事習慣」「口腔衛生」の重要性など病気の早期発見はもちろん、病気にならない体作りまで意識が高まっており、それを動物でも実践できるプランにアップデートしています。

まず、基本となるのが年4回の診察です。ここで細かな身体チェックをしていきます。

適正体重（ボディコンディションスコア：BCS）ではスタッフが身体を触診して体格を評価します。「毛がフワフワしているから太っていると思ってた！」「食事を測って与えているので適正体重かと思ったけれど減量が必要なのか！」ここで発見が得られることも多いです。日々の食事内容や量のヒアリングを行い、犬の形をしたBCSツールと一緒に触れて適切な皮下脂肪の量の感覚を覚え、その子に適した食事の計画を一緒に立てていきます。ウェルネスサロンでは、栄養に関する資格を持ったスタッフが在籍しており、新しい知識やトレンドをアップデートしています。

良く見ると、ウェルネスサロン内に展示してあるフードサンプルも定期的に変更されています。是非気になるものがあればスタッフまでお声がけください。



次に口腔衛生のチェックです。歯石がピンクに光る特別なライトで口の中を照らして歯石の付着度合、歯肉炎を評価していきます。また、年1回実施する歯周病リスク検査では犬猫の歯周病原因（Porphyromonas gurae）が産生する特異的な酵素を測定し、原因菌の有無や量を5段階で判定していきます。口腔衛生の意識が浸透する前は、シニアになると歯石が付着し、口臭、歯周病により食事をする度に口に痛みや出血が生じるケース、また膿の様な鼻水、頬に膿が溜まる歯根尖膿瘍、顎骨折など大きく生活の質を落とす原因となりました。



最近では口腔ケアの意識の高まりにより、パピーの乳歯の頃から口に入ること慣れるトレーニングを始め、デンタルシートやペースト、ブラシを使いながらキレイにお手入れされている方が増えています。ウェルネスサロンcocoeでは、歯石が光るライトにより磨き残しや汚れが溜まりやすい場所をご家族様と一緒に確認することで、磨きグセによる歯間、左右差の汚れなどを確認し、今後の自宅でのお手入れの参考にさせていただきます。



欧米では人も動物も白い歯、健康な歯に対する意識が高いとされていますが、当院でも超音波スケーラーでの定期口腔クリーニングにより、歯石と歯周ポケットの汚れをリセットしていつまでも痛みなく美味しくご飯を食べられるように。そして、心臓病、腎臓病、免疫介在性疾患など様々な病気のリスクとなる歯周病をコントロールしていくことを目的としています。

どうしても嫌がってしまう子、難しい子に関しては個別の歯磨き教室をご案内しています。また、ウェルネス会員の方にはデンタルグッズやスケーリング施術の割引制度を設けておりますので、是非皆様キレイな歯で健康に過ごしていただけることを願っています。

ウェルネスプランの上級者の方は、この年4回の診察で、様々な質問や疑問、不安に思われている点をしっかり解決して帰られます。次の検診で、前回歯石チェックで汚れがあった部分を注意してケアしていただくことで歯磨きが上手になっている、体重コントロールに成功してよりよい体重になっている、サプリの効能が感じられて関節の痛みが軽減して散歩が楽しくなった、食事を変えてお腹の調子が良くなった、など動物はもちろんご家族もハッピーになっていく過程にご一緒させていただけることをスタッフ一同喜ばしく思っております。

これから春の予防シーズンを迎えます。健康な子が来院する貴重な機会になりますので、是非ウェルネスサロンcocoeをご活用ください。スタッフ一同お待ちしております。



# 宮古島 だ よ り

麻布十番犬猫クリニック 宮古島分院より

麻布十番犬猫クリニック 宮古島分院  
住所：沖縄県宮古島市平良字西里 928-1-103  
TEL：0980-79-8612  
HP：miyako.jamc.co.jp  
Instagram：miyako.jamc



宮古島の皆さん、こんにちは！

寒い冬が終わり、宮古島も暖かい日が増えてきました。

さて、今回は皆様にご報告がございます。

長年にわたり麻布十番犬猫クリニック宮古島分院の院長として病院を支えていた獣医師の富田翔が、この度宮古島を離れ、新しいスタートを切ることとなりました。

そこで今回は、宮古島分院の今後の院長に就任した獣医師の古川哲也のご紹介と共に、宮古島分院の歴史を振り返りたいと思います。

是非ご覧ください！





開院当時の富田先生

2013年3月に開院した宮古島分院は富田先生を院長としてスタートしました。その後、2016年3月から2018年3月までは瀬尾和馬先生が副院長として就任し富田先生とバトンタッチをして宮古島分院にて勤務しておりました。2018年3月からは再び富田先生が宮古島に帰ってきて現在まで院長として宮古島の動物医療を支えてきました。



開院当時の麻布十番犬猫クリニック宮古島分院



当時の新聞広告

ちなみに…  
愛玩動物看護師の碓氷は2016年6月に入社し始めは瀬尾先生と一緒に働いていました



麻布十番犬猫クリニック宮古島分院は、2013年3月14日に東京都港区にある「麻布十番犬猫クリニック」の分院として宮古島に誕生しました。

開院当時から現在まで富田先生は院長として就任しここ宮古島に住む沢山のご家族様に安心してご通院いただける病院作りのために力を尽くしてまいりました。ご家族様に寄り添い、どんな動物たちにも優しい心で対応する富田先生は皆様にとっても頼れる人気獣医師となりました。



そして、今年の4月から古川先生と共に宮古島分院に中村圭吾先生も常勤獣医師として仲間入り致します！

古川哲也先生は2019年に初めて宮古島に来て富田院長と共に働いていました。初めは数か月の勤務でしたが、その後は1年に渡り宮古島に滞在して富田院長と共に診療にあたりました。

明るくてムードメーカーの古川先生は私たちスタッフにとっても頼りになる存在でした。



#### 古川 哲也先生からのメッセージ



宮古島にお住まいの皆さま

2024年6月より麻布十番犬猫クリニック宮古島分院の院長に就任致します古川哲也と申します。私は2019年に初めて宮古島分院での勤務を経験し、以降は当グループ病院の日本動物医療センターに勤務しながら定期的に宮古島で獣医療に携わってまいりました。この青く綺麗な海や温かくフレンドリーな島民の皆様に囲まれた宮古島での生活はとても心地が良く、今では私のアナザースカイとなっております。皆様が家族の一員である動物たちと安心して、そして、健康で長く美しい生活を送り「真の動物と人の共生」を行えるよう全力でサポートさせていただきます。よろしくお願い致します。

獣医師 古川哲也

#### 中村 圭吾先生からのメッセージ



宮古島のみなさま、こんにちは。

4月末から常勤獣医師として勤務致します、中村と申します。

以前は当グループ病院の日本動物医療センターで勤務しておりました。

実家では犬と猫を1匹ずつ飼っており、動物が大好きです。ご家族様のお気持ちに寄り添った医療を心がけ、動物たちの元気な暮らしを支えられるように精一杯頑張ります。

よろしくお願い致します。

獣医師 中村圭吾



富田 翔先生からのメッセージ

この度私事ではございますが、2024年6月10日をもちまして、麻布十番犬猫クリニック宮古島分院を退職することとなりました。

2013年の開院以来、11年にわたり温かな宮古島の皆さまと皆さまの可愛いご家族達と出会えたことは、私の人生においてかけがえのない宝物となりました。

皆さまのおかげで、獣医師として、また人間としても成長させていただけたと考えております。

長きに渡りお引き立ていただき、誠にありがとうございました。

後任には、東京の日本動物医療センターから古川哲也先生が就任させていただきます。古川先生は誠実で優しい人柄と確かな技術を持った獣医師です。皆さまに引き続き安心して通っていただけるよう、万全の体制をとって参ります。

今後とも変わらぬご支援ご愛顧を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

麻布十番犬猫クリニック宮古島分院 院長 富田翔

富田先生の宮古島分院卒業は私たちスタッフも、宮古島にお住いのご家族様同様ととてもとても寂しいです。

ですが、皆さまも富田先生の今後の活躍を応援していただけますと幸いです。

また、富田先生退職後も、今までと変わらずご家族様にとって安心して大切な動物たちをお任せしていただける病院を、残されたスタッフ一同で精一杯守り続けたいと思います。

今後ともよろしくお願い致します！！

## 診療時間 (ご予約受付:9:00~20:00。救急は24時間365日対応)

受付時間	月	火	水	木	金	土	日
09:00~13:00	●	●	×	●	●	●	●
14:00~16:00	○	○	×	○	○	○	○
16:00~20:00	●	●	×	●	●	●	●

●：通常診療、○：完全予約診療  
水曜日休診（救急は対応します）  
東京都渋谷区本町6-22-3

## 入院中のご面会

14:00~16:00 | こちらの時間以外をご希望の際はご相談ください。

## 救急診療



24時間365日救急対応。  
獣医師・ケアスタッフが  
24時間待機・看護します。

まずは当院へお電話ください。

**03-3378-3366**

急な体調の変化、怪我など、年間1500件以上の夜間診療を実施しています。深夜でも獣医師2名・ケアスタッフ2名以上が常駐し救急診療および入院看護にあたっています。緊急手術の際は、緊急手術担当の獣医師も駆けつけ増員します。  
当院はJAHA（日本動物病院協会認定）認定動物病院です。

## 下記をお知らせください。

- ご家族様と動物のお名前
  - 症状
  - 動物種（犬・猫・うさぎ・フェレット・ハムスター）、年齢、性別
  - 既往歴
  - 来院時間
- ※現在服用中の薬もご持参ください

## ご注意事項

- お問い合わせが集中しているときなど電話がつながりにくい場合があります。お手数ですが、しばらくたってからおかけ直してください。
- 緊急性や重症度の高い動物の対応を優先していますので、状態に応じて順番が前後してしまうことや待ち時間が長時間になることもありますのでご了承ください。
- 緊急時にはお預かりして、救命処置を進めさせていただくことがございます。
- 夜間は保険の窓口清算ができません。各保険会社にお問い合わせください。

## アクセス

東京都渋谷区本町6-22-3  
都道431号線沿い（白い建物です）

当院の住所「東京都渋谷区本町6-22-3」でナビ案内するとともに、当院の裏通りに案内されることがございます。ご注意ください。  
ナビ案内で来院される場合はこちらの住所を入力ください。「渋谷区本町1-62」

